

# 第96回北海道教務支庁記念祭

## 立教179年9月2日 午前9時30分 執行

### 記念講演 本部員 井筒梅夫先生

(本部布教部長・天理教芦津大教会長)

◎ 記念祭当日は献血車が参ります。どうぞ多くの方々のご協力をお願いします。(福祉厚生部)



## 夏のおちばで「道産子の集い」開催！



第528号  
 発行所  
 天理教北海道教務支庁  
 札幌市中央区南8条西11丁目  
 電話 011(561)-1148  
 F A X 011(561)-1190  
 E-mail:kyouku-h@vega.ocn.ne.jp  
 印刷  
 三浦印刷株式会社

7月29日 修養科5講堂 25団体・408名が参加。  
10チームが4競技で優勝目指して元気いっぱいオリンピックを楽しんだ。

天理教を紹介します



## 天理教基礎講座 TENRIKYO BASICS COURSE

どなたでも  
お聞きいただけます

天理教基礎講座は天理教の紹介とともに、その教えを通して人間本来の幸せな生き方を考える講座です。

### 《北海道会場の御案内》

8月9日(火) 13時30分 教務支庁  
 10月1日(土) 13時30分 天龍支部  
 10月10日(月・祝) 13時30分 教務支庁

- 「ほこり」についてのお話をして頂き、ふとスッと心に治まるものがありました。(30代信者女性)
- 陽気ぐらしの実践のやり方を具体的に聞けた(50代信者男性)

北海道教区のホームページ <<http://www.tenrikyo-hk.com/>> 教区報がご覧頂けます。

### 里親研修会開催

#### 福祉厚生部

7月2日・3日にかけて、教



区福祉厚生部(伊藤逸雄部長)では、羽幌分教会を会場に、第21回里親推進研修会を開催した。(参加者・26名) 教区の里親会は、教祖の「人の子を預かって育ててやるほどの大きなたすけはない」とのお言葉を受けて、積極的に里親登録を押し進めており、また、ひながたの道に沿った養育方法を身につけることを目標に活動を進め、研修会を開いている。

今回の研修会では、1日目は、「現代の難渋たすけに前向きに進んでほしい」という部長挨拶に続き、2人の弁士による基調講話(体験談)があり、その後、参加者で2つのグループに分かれて討論をし、その後懇親会を行った。

### 福祉厚生部 各役割担当者

|           |        |            |
|-----------|--------|------------|
| 部長        | 伊藤 逸雄  | (紋別・北湧)    |
| 次長        | 関野 保   | (天龍・苫前)    |
| 事務局       | 古川 慎司  | (苫小牧・北澄川)  |
| 事務        | 西田 敏明  | (札幌東・新札幌)  |
| 三連        | 山田 幸雄  | (札幌白豊・千代樺) |
| 三連        | 本田 和夫  | (倶知安・岩内町)  |
| 里親担当      | 岡崎 秀人  | (室蘭・本輪西)   |
| 〃         | 渡部 修   | (南空知・清真布)  |
| 〃         | 尾留川 雅道 | (渡島・秋館)    |
| 〃         | 上村 英昭  | (空知・上赤平)   |
| 献血        | 中村 誠一  | (札幌中南・統典)  |
| ひのきしんスクール | 五十嵐 仁  | (宗谷・男能富)   |
| 結婚相談室     | 北村 貴久  | (札幌白豊・羽幌)  |
| 結婚相談室     | 藤田 大和  | (札幌白豊・札美)  |

2日目には、天理教里親連盟の活動報告、説明があり、教区里親会の活性化、諸問題について討論された。中でも、2人のベテラン里母さんの話は、「里親をする中で、行政との関わりで諸問題があつて、心の葛

### 各地の話題

藤があつた。」と、また「里親をさせて頂いているお陰で、里親自身が成人させて頂いている喜びや、教祖のひながたの有り難さを再確認させて頂いた。」など、感慨深いものであつた。グループ討論では、参加者が日常でかかえている悩み事や、それを乗り越えられた喜び事を、積極的に話し合いながら、充実した時間を過ごした。



●札幌北西支部(武田親一郎支部長)では、6月5日支部総会を開催、座りづとめの後よろづよ八首を全員総立ちにてつとめ、総会式、各部連絡の後、記念講演に前教区長の藤田文雄先

活動期だけに他の様々な行事と重なり、少年会員、学生会員の参加が少なかったが、この春から地道に練習会を重ねている雅楽会が、ミニコンサートで聴衆に日ごろの成果を見せたり、お酒やウイスキーなど100点以上集



生を迎えた。先生は教えをやさしく話され、特に教祖の道すがらについて解りやすく説かれ、初めて聴かせて戴くお話もあつて感銘を受けた。(参加者80名) ●旭川支部(藤崎実支部長)で、総会と成人講座開催。まず7月3日、上川分教会を会場に、教祖130年祭の年の総会を開催した。おつとめ着をつけて12下りのてをどりを勤め、その後、教区長からの祝辞、各会の活動報告と行事計画発表、支部長挨拶と続いた。

まつた抽選会等で盛り上がった。(参加者・108名) 翌週の10日には、北愛分教会を会場に、「すつきり解決! 不足の心」というプログラムを用いて成人講座を開催。講師に白豊支部副支部長・山田幸雄先生(千代樺)を迎えた。お道の人でも、誰でも沸き起こってしまう不足の心を、どう鎮め、どう変えていくかという、身近な題材に、練り合ひも深いものになった。特に先生は、手話の同時通訳のできる、教区でも数少ない人材で、御本部などでの豊かな経験を元に、不足の心を感謝や喜び、勇みに変えていく身近な明るいお話をされて、好評であつた。(受講者20名) ●上川支部(白皇道之支部長)では、7月9日、永山分教会を会場に、支部総会を開催した。有志による雅楽奏楽のもと、支部長が祭文奏上。続いて6交代でおつとめを勤めた。教区長メッセージ代読の後、講師としてお迎えした五十嵐仁先生(宗谷支部長)の講話があり、縁あつて13年前にウガンダに行かれ、その後現地で布教を志し、翌年には、その真実な布教活動が一人の町の有力者の心を動かし、道

教理随想(十)

神は見ている

木岡 昭

先の戦争は昭和二十年に終わったが、その頃を経験した人々は大変貧困な生活をしいられた。とりわけ都会に住む人達は戦禍を逃れて田舎へ疎開したが食べ物がなく困っていた。

そんな一族の柱であるAさんは、あまりのひもじさに子供がかわいそうと思ひ、良くない事と知りながら他人の畑のイモを盗む事を決行した。まだ学校に通う前の幼い子供を連れてイモ畑へ着いたAさんは、息子に向かつて「いいかい。お父さんは今からイモを掘るからお前はここにいて見張りをしている。人が来たらずきに知らせるのだぞ」といって畑の中へ入っていった。

そうしてAさんが畑の中へ入っていき掘ろうとすると、息子が「お父さん、見えているよ」と叫んだ。Aさんはあわてて畑から飛び出て息子のところへ行つたが誰も人影は見当たらない。Aさんが「どこにいたのだ」と詰問すると息子は「だつて

さつきからずっとお月さんが見ているんだもの」と答えたという。その日は月夜であったのである。

Aさんは瞬時に目が覚めた。そして深く反省した。なるほど人は見ていなくても神様はどんな所においても、またかくれて何をしていても見抜き見通しなのだ。と今更ながら悟つた。と同時に、こんなことが咄嗟に言える息子の心は素晴らしいなあと感じ、心より嬉しく思つたという。

Aさんは「そうだな、お父さんが悪かつた。さあ帰ろう」と息子に云つて帰つた。帰途に道中、Aさんは何とも言えない嬉しさがこみあげてきて、たびたび涙をぬぐつたという。

時を経て息子が大人になった時、Aさんは改めてその時の状況、心境を息子に話してきかせた。息子は改めて心のうちをさらけ出す父親の姿に、人としての真実の心を感じ、一層の尊敬の念を抱いたという。

私はこの話を聞いて感動した。そして親子の裸の、そして真実の心のつながりに喜ばせて頂いた。

私達はしばしば損得の誘惑に負けるものである。しかしその

が伸びていった話を聞き、あら



前に生き方の定規があることを忘れてはならない。私達にとつての定規は天理である。いくら人から許されても心得違いは天理が許さないのである。地位、名誉、財産のあるなしに関わらず、各自がまいた種の結果はその人の運命に返ってくる。人は自分の都合の悪い事はすぐに忘れて不平不足を言うから困るのである。

私達は常に天の定規を心に納めて、時には厳しくなるべきである。その心の人こそ感動の人生が通れるのである。

ためてお道が最後の世界宗教であることを認識させて頂いた。

昼食はバーベキュー。婦人会からのおにぎり、アイスクリームの差し入れ、また女子青年がお手製のクッキーに心が豊かになる一言を短冊に書き入れて包み、参加者76名へ配られた。

●小樽支部(高橋義清支部長)は、7月3日小樽天理教館で総会を開催した。

午前10時支部長挨拶にはじまり、記念講演に西垣定洋教区長をお迎えした。続いて全員でよろづよ八首でをどりを鳴物の調べに合わせてつとめた。

その後「お楽しみ広場」として、恒例になった模擬店の料理を楽しみながら、小樽鼓笛バン



ドと北陸団高台鼓笛隊の有志による合同演奏演技や、小樽雅楽会の演奏、さらには、学生会による抽選会等が催され、終始和やかな総会となった。(参加者191名)

●北見支部(西増博文支部長)では7月9日、華形分教会を会場におつとめ総会を開催した。



午前10時、支部雅楽部による演奏の中、祭典執行。座りづとめから12下り目まで、4交代で教会長、ようぼく、少年会員につとめた。

その後、鍋田講師による講話を頂き、直会では会場教会手作りの豚汁に舌鼓を打ちながら、賑やかに会話も弾んだ。

### 新教会長さん紹介

(平成28年6月26日お運び)  
千恵広支部

勇走分教会(網走)  
奉告祭7月3日



三幣敦志氏 (38歳)

北見支部

斜里町分教会(網走)  
奉告祭8月22日



奥野直治氏 (39歳)

十勝支部

廣茂分教会(豊岡)  
奉告祭9月11日



宮脇道一氏 (49歳)

### 母親講座担当者講習会

7月1日、教区婦人会では、母親講座担当者講習会を、全道の支部担当者を集めて開催した。(支部担当者・46名、常任委員8名 計54名)

### けいじばん

(詳細については先月号を参照下さい)

#### ◎災害隊平時訓練

日程 8月29〜31日  
集合場所 いわないリゾートパークオートキャンプ場

#### ◎教区青年会

「布教合宿」― 求道と実働 ―

#### ◎青年会緑化ひのきしん

立教179年9月3日午前9:00  
集合・受付 とうや湖コミューニティセンター  
(前日より宿泊可能)

#### ◎学生会「まなびば」

開催のお知らせ

期日 立教179年8月20〜21日  
会場 教務支庁

#### ◎女子青年大会会場日程

| 日時            | 8月20〜21日教務支庁 |
|---------------|--------------|
| 9月3〜4日        | 紋養分教会        |
| 9月4日(日) 10時   | 教務支庁         |
| 9月18日(日) 12時  | 網走大教会        |
| 10月30日(日) 10時 | 函館(松風分)      |
| 10月30日(日) 10時 | 夕張大教会        |
| 11月5日(土) 12時  | 雨龍大教会        |
| 12月3日(土) 10時  | 教務支庁         |

講習では、5月末御本部での同講習会でお聞きしたことを詳しく伝えたが、任期改選に伴い、新任の方が過半数近くを占め、参加者一同、最初は不安な面持ちであった。しかし、担当者役割や重要性が少しづつ認識されていく中、練り合いの時間には和気あいあいと活発な意見が飛び出し、時間が足りなくなる程熱心に取り組んでいた。また、今年開催の女子青年大会で行うグループワークの時間も取り入れ、楽しい時間を過ごした。

10時からの座りづとめ後、教区主任先生のご挨拶があり、親孝行の心と御恩報じのつとめについてお話を頂き、その後、午前中はゲームやトークを楽しんだ。特に、指ヨガには先生に来て頂き、いつも自分の時間が取れないママにとってリラククスタイムになった。

アップできる有意義な時間になった。

「子育てママの究極のリラククスタイム」「ままっぷ」開催!!

#### 子育てママの究極のリラククスタイム

#### 「ままっぷ」開催!!

7月3日、教区婦人会では第15回「ままっぷ」を開催した。参加者は、お母さん32名・子ども51名・婦人会、ひのきしん24名 計107名。

又、いつも参加者が楽しみにしている、スイーツbuffet付きフリートーク!! 美味しいケーキに癒されながら「あなたにとって教会とはどんなところですか?」というお題で各テーブル毎に語り合い、育児や信仰、日々の生活を見つめ直し、お道に繋がる女性として更にパワー



### 北海道教務支庁日誌抄

(6月20日〜7月18日)

- 6月26日 本部月次祭選拜式
- 30日 布教の家 寮祭
- 7月1日 たすけ推進会議  
婦人会母親講習会
- 2日 支部長会議
- 3日 「ままっぷの集い」
- 4日 任命願書発送
- 9日 第17回基礎講座  
講師 藤野宏成先生  
(受講者1名 累計8051名)
- 10日 事情願書発送
- 16日 道の教職員の集い
- 17日 学生会例会
- 18日 教区報編集会議

### 計報

- ・佐藤秀磨様 6月11日出直 (88歳)
- 元十勝支部長
- 公輝分教会前会長 (十勝支部)
- ・高橋美津志様 6月6日出直 (86歳)
- 祝梅分教会前会長 (千恵広支部)
- ・佐々木美代子様 6月7日出直 (87歳)
- 豊慶分教会会長夫人 (南空知支部)

### 「耳寄りなお話し」

只今TB S系放送中「仰げば尊し」の寺尾聰さん演ずる先生は、天理高校吹奏楽部出身で、甲賀大・教人さんです。(故人)